



←PTAエンブレム

PTA 会長挨拶



大阪府立大正白稜高等学校
第四代PTA会長

西村、民浩

個性を大切に羽ばたけ「卒業」

「三期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。それぞれの思い出を胸に、その経験を宝として！

新たなステージに向かって羽ばたいていく生徒のみなさん。卒業すると言うひとつの区切り、別れを迎えますが、その先には出会うはずのない新たな邂逅と言う奇跡があります。

誰もが傷つくのは嫌なものです。誰もが傷つかないように知らず知らずのうちに、自分の殻に閉じこもってしまう。傷つかなくて済むならその方がいい。しかし、「傷つかない」と分らないもの。「傷つかない」と見えないもの。があります。

これから大人に成長していくなかで、良い意味で「たくさん傷ついて」「多くのことを学んで」「その経験から「人の痛みが解る。」「人の辛さが理解できる。」優しい心の持ち主になって欲しいと願っております。

「卒業されるみなさんへマクドナルドのポテトになぞった「Twitter」での投稿を紹介させていただきます。

一番長いポテトが、一番えらいわけではありません。短いポテト、曲がったポテト、カリカリポテト、柔らかいポテト皆それぞれの良いところがあります。皆それぞれ「好き」と言ってくれる人がいます。自分の味を大切にすればきつと活躍できるはず。……… 自分の味それが個性なのです。

「さあ、未来へ向かって羽ばたけ。 大正白稜の生徒たち」この3年間、私たち「PTAの志」として目指しましたのは、「生徒」「学校」「PTA」が三位一体となり楽しい学校生活の思い出がひとつでも多く、作れますようにと活動して参りました。

最後に、PTAへのご理解とご協力をいただきました全てのみなさんへ感謝を申し上げ私からの言葉とさせていただきます。

祝卒業



「表現メディアの編集と表現」ペーパーバック作成

「表現メディアの編集と表現」という授業で、オリジナルのペーパーバックを作りました。生徒の皆さんは、商品コンセプトを考えながら illustrator というソフトウェアを使い、しっかりと作り上げてくれました。どの作品にも個性が光っており、制作過程の苦勞を知る身としては、万感の思いでいっぱいです。たくさんの人に見てもらえて幸せな気持ちとなりました。

授業担当：曾田 智世





TAISHO HAKURYO TIMES



祝 辞

1組

大阪府立大正白稜高等学校
3年1組担任

松尾 光洋

これからの人生において、皆さんに鍛えてほしい三つのことを教えます。

一つ目、「足」です。足を鍛えることは、運動することです。たくさん歩いて、身体を動かして健康になりましょう。

二つ目、「頭」です。頭を鍛えることは、勉強することです。大人だって勉強はします。早く仕事を覚え、資格を取得し、スキルアップしましょう。

三つ目、「心」です。心を鍛えることは、自分の気持ちをコントロールすることです。

不安やイライラと直面した時に、気持ちを回復できるよう、ポジティブなことを考える癖をつけたりリフレッシュ方法を見つけたりしましょう。

最後になりますが、三期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

楽しい毎日をごさせてくれたことに感謝です。体に気をつけて過ごしてください。

2組

大阪府立大正白稜高等学校
3年2組担任

下田 恭平

卒業を迎えるにあたり、みなさんに覚えてほしいことがあります。それは、自分の人生の責任は自分にあるということです。

私は学生時代、長期留学をしたという思いがありながらも、目の前のやりたいことを優先し、自分にウソをついて生きていたことがあります。そのうちやろうと思っても、人生とは残酷なもので止まってはくれません。

結果、私の留学の夢は教師になり、結婚を経てから叶うことになりました。自分の幸せやしたいことは自分しか分かりません。

先生が友達と言ったからこうしたは楽ですが、その選択の責任は自分にあるということを忘れないでください。

最後に、相田みつをさんの詩の一節を送ります。「そのうち……と、できない理由をくりかえしているうちに結局は何もやらなかった空しい人生の幕がおりて顔の上に淋しい墓標が立つ。そのうちそのうち日が暮れる。いまきたこの道かえれない」卒業おめでとう。そしてありがとう。

3組

大阪府立大正白稜高等学校
3年3組担任

坂口 和哉

三期生の皆さん。大正白稜高校で、やりたい自分や将来の夢に出会うことができましたか？

夢や目標に出会えた人、夢を持つことはとても難しいことです。その夢を持った今の気持ちを忘れないでください。これから誰よりも努力し自分を信じ、立派な夢を叶えてください。

夢や目標に出会えなかった人、「大きな夢」がなくなっている人です。「小さな夢」を常に持ち続けてください。例えば、海外旅行に行きたい！楽器を上手に弾けるようになりたい！大好きなアーティストのライブに行きたい！些細なことのように感じますが、こういった「小さな夢」が

みななの日々の力の源になります。四月から新生活が始まります。不安で辛い時には傷つくこともあると思います。そんな時には、「大きな夢」「小さな夢」が皆を守ってくれます。背中を押してくださいね。三期生の皆さん、新しい舞台でも輝き周りの人を笑顔にできると信じています。三期生の担任になれて幸せでした。卒業おめでとう。

4組

大阪府立大正白稜高等学校
3年4組担任

前田 裕之

三期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。真面目にコツコツ頑張ってきた人、ここまでよく頑張りました。ちよつと危なかった人、最後まで頑張れて良かったね。

三期生は元気な生徒が多く、行事はいつも大盛り上がりでした。時々注意されることもありましたが、そんなところも含めて三期生は、良い学年だったと思います。

4月からは新しい場所で、新しい生活がスタートします。きつとこれまで以上に新しい物事に会おうことでしょうか。そして、これまで以上に自分自身で判断しなければいけない場面が増えると思います。そんな時のために私が皆さんに何度も伝えてきた「考えて行動する」ということを改めて覚えておいて欲しいと思います。

周りに流されたりせず、よく考え、自分が本当に良いと思える選択をしてください。もし失敗しても、投げださず、また考えて次に活かしてください。

三期生の皆さんと過ごした3年間、楽しかった！ありがとう！元気でね！

5組

大阪府立大正白稜高等学校
3年5組担任

榎本 由美

「ご卒業おめでとうございます。」心から皆さんにこの言葉を伝えます。

この学校で担任をした学年が大正白稜3期生で本当に良かったです。楽しいことや嬉しいことばかりではなかったけれど、皆さんと出会ったことに感謝しています。一緒に過ごした日々は忘れません。

人生は誰のものでもなく、自分自身のものです。人の為ではなく、自分の為に生きてください。

自分を大切に、自分自身を温かく包んであげてください。

そして、周りの人にも優しくできる人になってください。

そうすれば、心地良い自分の居場所をみつけることができます。

再び皆さんに出会えることを心待ちにしています。その時には、素敵になった大人の姿をみせてください。

三期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私は、学校の事務室で仕事をしていたので、卒業生の皆さんと直接関わることが無かったと思いますが、成人となり、社会へ今羽ばたこうとしている皆さんへ社会人の先輩として一言、贈りたいと思います。これから皆さんは、良い事ばかりではなく、色々な困難に遭遇し、立ち向かい、時には挫折することもあるでしょう。

しかしそんな時は、自分一人で悩まず、誰かを頼ってください。親であったり、友人であったり、先輩であったり。きっと誰かが助けてくれます。人生は長いです。後から振り返ってその事を笑い話にする時がきっと来ます。忘れないでください。

事務長
法橋 秀晃

ご卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さんに、こんな言葉を贈ります。

「君はこれからも何度もつまずく。でもそのたびに立ち直る強さを持っているんだ。」

「いちばんいけないのは、自分はダメだと思い込むことだよ。」

(「ドラえもん」より)

卒業生諸君、さあ踏み出そう！

教頭
中村 壽男

ご卒業おめでとうございます。

みなさんは、コロナ禍の中で入学式から卒業式まで過ごしましたね。

今まで、誰もが経験してこなかった大変な学生生活を乗り越えて今日を迎えています。本当に素晴らしいと思います。

この経験があれば、これからの苦難があっても、きっと乗り越えられます。今まで本当によく頑張りました。

みなさんのこれからのご活躍を心からお祈り申し上げます。

教頭
内池 憲治

三期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

先輩方が行事に取り組みされる姿は、とても印象的でした。

体育祭のサンサン三期リレーでは三年生の深い絆、文化祭では、舞台の劇やダンスに心から楽しむことができました。

先輩方が学校を盛り上げて下さったパワーや団結力を引き継いで、後輩たちと共にさらに楽しく、活気のある学校を目指していきたいと思っています。

三期生の先輩方の今後のご活躍を心からお祈りいたします。

生徒会長
福山 瑛斗



校長先生挨拶



大阪府立大正白稜高等学校
第四代校長

「感謝の心」

藤原 隆志



「三期生のみなさん。卒業おめでとうございます。」3年間の高校生活を終え、新たなステージに向かって飛び出していくみなさんを、心から祝福したいと思います。思い返せば3年間、コロナが流行し、三期生のみなさんは、待ちに待った高校生活がいきなり休校となってしまいました。

誰もが初めてのことで大きな戸惑いもありましたが、コロナ感染防止対策に努めながら2ヶ月遅れての新年度開始となりました。

その後もコロナの影響は続き、卒業間際まで何かと制限の多い高校生活になりました。しかしながら、みなさんは何も出来ない諦めることなく、何が出来るかを考え、そのおかげで、体育祭や文化祭などの行事を盛大に実施することができました。

また、2年生では行けなかった修学旅行もその代替行事として3年生で実施することができました。みなさんの理解と協力のおかげです。本当にありがとうございました。昨年も書かせてもらったのですが、本校では3年間で「白稜シブ」という4つの力をみなさんにつけてもらおうと指導してきました。

①考える力 ②チームで働く力(協働) ③踏み出す力 ④創造する力

この4つの力。しっかり身につけたでしょうか。コロナ禍の影響で、先行きが見通せない社会になっていますが、この4つの力を発揮して、自分自身を成長させてほしいと思います。これからみなさんは進学や就職をして、新しい一歩を踏み出すこととなりますので、はなむけの言葉を一つ送りたいと思います。

みなさんは、生まれた時からパソコンやインターネットのある環境で育っています。デジタル・ネイティブとよばれる世代です。この数年で急速に普及したSNSを使えば誰もが世界中に情報発信できる時代となりました。アメリカのIT企業であるGoogleの著書の中で「たった一世代のうちに、手のひらに収まる端末を使って、誰もが世界中の情報にアクセスできるようになった。2025年には80億に達する世界人口のほとんどがオンラインでつながるだろう」と述べています。今後、グローバル化の進展によって、みなさんと社会との関係はますます拡大していくでしょう。しかしながら、たとえ優れた科学技術が世界中の人々をつないだとしても、人は支え合い、共に生きていくことに変わりはありません。このような時代であるからこそ、人と人を結びつける「感謝の心」がより一層大切になると思います。「感謝の心を忘れない人であれ」、この言葉をみなさんに送りたいと思います。

最後になりますが、お子さまの在学中、保護者のみなさまから賜りました本校へのご理解・ご支援に対し厚くお礼申しあげ、お祝いの言葉とさせていただきます。

3年生 学年主任挨拶

大阪府立大正白稜高等学校
3年生学年主任

松岡 美弥子

三年生の皆さん、保護者の皆様、
ご卒業おめでとうございます。

三期生の入学で大正白稜三学年が揃い完成しました。それなのに不要不急の外出自粛とか言われて、なかなか皆さんに会えずもどかしい思いをした日々がもう懐かしいです。私事ではありますが、三期生の卒業と同時に定年を迎え、皆さんと一緒に三年間を過ごせたことに感謝でいっぱいです。

実は入学時に、担任の先生方と学年の目標を決めました。それは学校の目標でもある自分で考え自分でチャレンジする生徒、そして、愛嬌のある生徒になってほしいということ。愛嬌のある人ってどんな人ですか？ 私は、人の話をしっかりと聞けて、自分の考えをゆっくりと話せる人なんじゃないかと思っています。

いつも心に太陽を、その結果周りの人に愛されて、みんなで協働でき、そこに笑顔の花が咲くのだらうと思います。

皆さんは、私たちが考えた以上に成長してくれました。苦しい時もあつたけれど、私たちの期待に答えてくれました。保護者の皆様にもご協力頂きありがとうございました。体育祭ではじけた「サン！サン！三期！」忘れません。卒業後も皆さんの活躍を楽しみにしています。